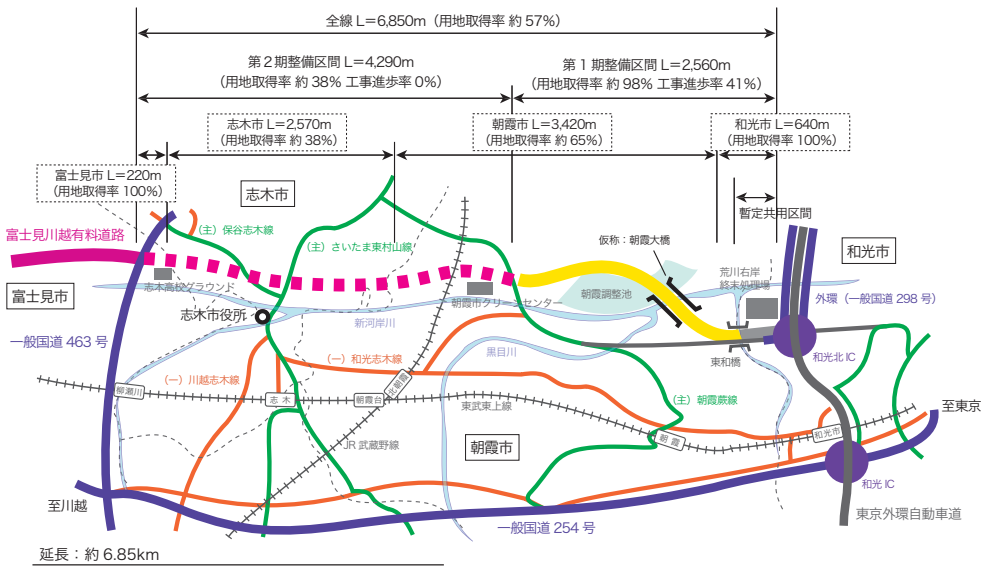
和光富士見バイパス建設
早期完成に向けて始動！

志木市内の計画予定地のいま
富士見有料道路の出口付近で



延長：約6.85km
幅員：36～42m
起点：和光市新倉［外かん（外環自動車道・国道298号）］
終点：富士見市下南畑［国道463号、富士見川越有料道路

一般国道254号和光富士見バイパス事業概要
―朝霞県土整備事務所の資料から―

志木市・朝霞市を通過して、富士見川越有料道路を和光市の東京外環自動車道「和光インター」につなぐ計画は、二年後に、この有料道路が無料化されるため、工事の促進が焦眉の急となってきた。

バイパス建設促進期成同盟会(会長・長沼明志木市長、副会長・浦野清富士見市長)は、昨年国に対して早期完成の要望書を提出した。工事を施工する埼玉県は、沿線住民に対して説明会を開き、地質調査、測量、土地取得の促進に向けて行動を開始した。

一般国道254号は、東京都文京区を起点に、埼玉県西部地域を縦貫し、長野県松本市に至る延長284kmの路線で、産業、経済、文化交流の基盤をなす道路となっている。県内では、関越自動車道の機能を補完し、首都圏中央連絡道路、東京外郭環状道路などの幹線道路を連結してネットワーク化する幹線となっているが、254号国道の混雑緩和と東京外環自動車道へのアクセス強化のため、このバイパスの役割に期待がもたれている。

「国道254号和光富士見バイパス」は、和光市内の東京外環自動車道から富士見市内の国道463号まで、和光、朝霞、志木、富士見各市を通過する延長6,850mの道路で、東京外環自動車道の和光北インターチェンジから県道朝霞蕨線までの2,560mは、担当する朝霞県土整備事務所によって、第1期整備区間の重点的な工事が進められ、朝霞、志木、富士見各市にわたる第2期整備区間でも、測量、地質などを検討する基本調査がスタートした。

しかし、残された工事区間の大半を占める志木市内の土地取得は、かならずしも楽観を許さない。すでに住宅地となっているため、地下型として、緑を残すべきだとの住民の声がある一方、大部分は低地で、構造として無理があり、過去の水害にも思いを致すべきだとの声も高い。また志木市への入口となる上宗岡地域は、佃堤の遺構が残されていて、まさに史跡をかすめての建設となり、またバイパスが、「宿通り」と、主要地方道さいたま・東村山線を横断することを心配する住民も少なくない。

また国の予算とはいえ、百億円から場合によっては数百億に膨らむかもしれない多額を要する今後の工事には、多くの課題が残されている。

市民プレス
SHIMIN PRESS
3月1日　第32号

発　行　人　特定非営利活動法人
「市民フォーラム」

編　集　人　原　昭二
制作・印刷　デジタル工房
F　A　X　048（476）9111
〒353-0004　埼玉県志木市本町5-18-24

市民の目線で市民が発信する地域情報紙
WEB SHIMIN
http://shimin.camelianet.com

CONTENTS

---PAGE 1
● 和光富士見バイパス建設
早期完成に向けて始動
● 新しい景観を創り
古い歴史と文化を遺す
行政のアクションプラン
街づくりに景観」が大きなテーマに
---PAGE 2&3
ひな祭り
～女性の健康と幸せを祈る祭り
---PAGE 4
● 朝霞市博物館の企画展
「埴輪の世界」
● 理化学研究所一般公開
● 「わがまち新座」写真の贈呈
● 志木第九の会
次回定期演奏会の曲目決まる

行政のアクションプラン
創る景観と遺す文化

街づくりに「景観」「文化遺産」が大きなテーマに

田園と都市が織り成す美しい景観を目指して、県の「景観計画」(条例改正の素案)が公表された。

埼玉県には、豊かな森林と山並み、これを源とする河川、水路網をもつ田園、樹林をもつ丘陵や台地がある。また、歴史と伝統を受け継ぐ街並みが多く残る一方で、新たな住宅地や商業地などがつくられてきた。

さまざまな表情を持つ地域の特性を生かした景観形成を目指して、平成元年に県の景観条例が制定されたが、埼玉県は、この取組みを強化するため「景観計画」の策定と「景観条例」の改正を行う準備を進めている。

計画の素案では、景観形成の方針、建物等の景観誘導に関する事項、歴史的建造物の保全方針などを定めるという。

○デザインや色彩などを周辺と調和するよう建築物等の景観誘導。○景観上重要な建造物、歴史的に価値のある建物や樹木の保全。○公共事業における景観形成と整備。

新座市では・・・

新座市の「観光都市づくり」は、本年度、観光ボランティアの養成、花のあるまちづくり事業などに多額の予算が計上される見込みだが、県の条例は、独自に計画を進める市町村を除外することになっている。したがって新座市は、県の「計画」とは別に、「景観形成」のトップランナーとして独自の道を走ることになる。新座市役所の隣地に新設された「観光プラザ」は、この活動の重要な拠点として期待される。

新座市役所の前に広がる平林寺では、4月17日の「半僧坊大祭」が迫ってきた。この時期になると、境内林の緑も美しく陽に映える。

昨年の半僧坊大祭のスナップ

朝霞市では・・・

朝霞市は、本年4月、地域のトップをきって、朝霞市博物館内に市の「文化財課」を新設、埋蔵文化財などの業務も強化される。

かねてから、朝霞市は、重要文化財である「旧高橋家住宅」の整備、多くの埋蔵文化財の保全をはじめ「朝霞市博物館」で開催される企画展など、文化行政に力を注いできたが、「文化財課」の新設によって、さらなる展開が期待される。

和光市では・・・

「理化学研究所」一般公開迫る。

和光市の「理化学研究所」は、自然科学の研究で、世界屈指のハイレベルをもっている。4月21日（土）、例年のように、内部が一般公開される。

研究施設の公開では、第一線の研究者が、高度のサイエンスを易しく、また楽しく説明し、市民、高校生の質問にも丁寧に答えてくれる。また講演会やイベントも開催される。

昨年の理研公開のスナップ

歴史を紐解く（ひもとく）

ひな祭り

～女性の健康と幸せを祈る祭り～

安斎　達雄

ひな人形の起こり

ひな人形（雛人形）には、人形を飾るという「飾り物」としての要素、人形と遊ぶという「玩具」としての要素もあります。しかしやはり、小さな女の子を身代わりとなって守るという「信仰・呪術」的な要素が、その根源にあるのではないでしょうか。その古式を残しているのが、現在でも島根県の用瀬で行われている「流しびな」の行事です。

これは旧暦三月三日に、男女一対の紙びなを桟俵（米俵のふた）にのせ、一年間の無病息災を祈って千代川に流すというもので、もともと紙などでつくった人形で身体をなで、人間がもつ災いを人形に移して、川や海に流し去ることを願ったものでした。

『源氏物語』にも登場する行事ですので、平安時代の十一世紀ごろには知られていたことは確かです。

豪華になったひな飾り

この宗教的な意味をもった「祓い」の行事と並んで、上流貴族の間では、少女たちによる「ひいな遊び」、つまり「お人形遊び」も行われていました。現在につながる「ひな祭り」は、人形が少女たちの身がわりになるという面を残しながらも、「ひいな遊び」の人形が豪華になっていったものといえますが、それには長い歴史の年月がかかっています。少女たちの幸せな未来を祈る行事として定着したのは、戦国乱世が終わって江戸時代にはいってからのことであり、さらに、現在のような華麗な人形や道具が登場したのは、江戸時代の中頃以降のことなのです。

八代将軍徳川吉宗時代の享保年間（十八世紀前半）には、ひな人形が奢侈になることを禁止する法令がだされましたが、これ以降かえって、木目込み人形、次郎左衛門雛、古今雛、有職雛など新しいひな人形がつくられていくことになったのです。

流しびな。毎年４月29日、岩槻公園でも行われる。

全国第一の人形づくり

現在でも岩槻（さいたま市岩槻区）・鴻巣といった代表的な人形の町をかかえている埼玉県に目を向けて見ましょう。日光御成道が通る岩槻については、日光東照宮の造営（完成は寛永十三年＝一六三六）にあったった工匠たちが、完成後に岩槻に足をとどめ、人形作りをはじめたといわれています。また鴻巣については、貞享四年（一六八七）に京都の仏師藤原吉囚が武蔵国の鴻巣に下り、天神像をつくったのに始まり、元禄十六年（一七〇三）頃に土人形がつくられるようになったといわれています。もちろん、これが決定的な資料だと即断は出来ません。

江戸時代の中頃、鴻巣・越谷・江戸十軒町の三箇所は「関東三大ひな市」とよばれ、各地にひな市がつくられました。江戸十軒町は日本橋大通りの人形市ですが、他の二つは現在の埼玉県内の人形市です。江戸の人形職人たちは競って鴻巣に修行にやってくるようになり、そのため文政十二年（一八二九）には、江戸と鴻巣の間で職人の奪い合いの訴訟もおこったほどです。

鴻巣の繁栄は明治になってからもつづき、明治三十五年（一九〇二）発行の『埼玉県営業便覧』によると、鴻巣の人形業者三十一軒（職人三〇〇人）、越谷六軒、大沢（昭和二十九年＝一九五四年に越ヶ谷町と合併）二軒、岩槻三軒とあります。

志木市立郷土資料館に飾られた裃（かみしも）びな

ところが埼玉新聞社発行の『埼玉要覧』昭和三十一年＝一九五六年度版によりますと、「本県の雛人形は岩槻市を中心としてその周辺の大宮、鴻巣、熊谷、本県西部の所沢、川越方面で生産する。」とあり、岩槻の発展ぶりが目に付きます。さらに続けて、「また輸出品として海外にも多数進出され、日本紹介に大きな役割を果している。中でも人形の頭部は全国生産高の九〇パーセントを占め、京人形、静岡人形等にもほとんど県産のものが使われている」とあります。

岩槻とのつながり

かつて志木市の市場通りに「中川人形店」がありましたが、そこに嫁いでこられた中川ちよさん（当時八十五歳。故人）の想い出話が、市場町内会文化部で年に一度発行している『文集いちば』第三十一号（平成九年十一月発行）に掲載されています。

それによりますと、ちよさんは、義父から岩槻まで人形ケースを取りに行くようにたのまれ、自転車にリヤカーを取り付けて朝十時頃家を出発。そのケースを山ほど積んで岩槻を出たのが四時半近く。与野まで来たときはすでに薄暗くなっていました。そのあと手すりのない羽根倉橋を生きた気持ちもなく渡り、やっと志木に帰って来たとあります。

また、志木市立郷土資料館が宗岡の旧家の方から寄贈を受けた人形の中に、江戸時代末期に、岩槻に在住していた人形師・橋本重兵衛が考案した「裃びな」があります。

肩が張った裃のような着物を着ているところから名付けられ、もともとは男女一対のひな人形でしたが、やがて一人一体のひな人形となりました。埼玉から群馬にかけて流行し、県内では秩父・川越・志木地区など地域限定で飾られました。ひな人形は庶民には高価なものでしたから、飾ることの出来ない家がたくさんありました。そうした中で「裃びな」は手軽に飾れるひな人形として、贈りものなどに喜ばれたようです。「裃びな」を伝えてきたお宅では、段飾りの人形を盛りたてるように、その前面などに並べて飾ったといいます。

やはり、この近辺では岩槻とのつながりが濃かったのではないでしょうか。

ひな段の飾り方

ひな人形の並べ方は段数などによって違いがありますが、ここでは七段飾りの標準的なならべ方を記しておきます。

・最上段（1段目）。男女一対の「内裏びな」を飾ります。

・2段目。三人官女（宮仕えの女性）をならべます。中央に三方（物をのせる台）また島台（蓬莱山をかたどった飾りもの）をもった官女、向って右に長柄の銚子（長い柄のついた酒つぎ器）をもった官女、向って左に加え銚子（提子＝取っ手のついた酒つぎ器）をもった官女をならべます。

・3段目。五人囃子をならべます。向って左から、太鼓、大鼓・小鼓、笛、謡（扇をもつ）の順です。元服前の少年貴族隊です。

・4段目。随身（警護にあたる武士）をならべます。一般には右大臣・左大臣ともよび、向って右にひげをはやした老人の左大臣、向って左に若者の右大臣をならべます。

・5段目。仕丁（行列のお供など雑用にあたる人）をならべます。沓台をもつ人が中央で、向って左が台笠（袋に入れた被り笠）をもつ人、向って右が立傘（袋に入れた長柄の傘）をもつ人です。また、向って右端には桜（左近の桜）を、向って左端には橘（右近の橘）を飾ります。これは京都御所の庭に植えてあるものを、かたどっています。

・6段目・7段目。食器・化粧道具・箪笥などの嫁入り道具を6段目に、駕籠・御所

鴻巣市役所のピラミッド型ひな飾り。26のひな段に1414体の人形を飾る

千葉県勝浦市の60段の神社の石段に飾られたひな壇

車・ひな人形以外の人形などを7段目、または段の下などにおくのが一般的です。

男びなは向かって右？左？

ところで問題になるのは、最上段に置かれた内裏びなの「男びな」と「女びな」の位置関係についてです。わたしたちが現在見る人形のほとんどが、右（向って左）が男びな、左（向って右）が女びなとなっています。しかし、これは昭和になってからのことで、それ以前は逆の位置でした。

それというのも、中国では「左が上位」と決まっていましたので、日本でもそれが受けつがれ、男びなが左（向って右）、女びなが右（向って左）となっていました。

しかし、昭和三（一九二八）年十一月十日の昭和天皇の即位式のとき、天皇が中央に、皇后が天皇の左斜め後ろに並ばれました。天皇が前、皇后が後ろではあったのですが、正面からみると天皇が右（向って左）、皇后が左（向って右）ということになり、以後、東京を中心とする内裏びなの位置も、それに合わせて変えられました。

もっとも、伝統を重んずる京都風のひな人形では、かつての伝統的な配置が守られています。

街おこしのイベント

最近では、市民から寄贈をうけた「ひな人形」を一堂に展示し、街おこしのきっかけとする行事がさかんです。二、三前には千葉県勝浦市の、神社の六十段の石段をそのまひな段とした展示記事が、ひな人形ファンの話題を集めました。今年（二〇〇七年）は、県内では鴻巣市役所で展示された二十六段、高さ五・七四メートルのピラミッド型ひな段、及び県外ものでは静岡県東伊豆町の稲取温泉での「ひなの吊るし飾り」が新聞紙上を賑わしました。

ひとくちに街おこしのために「ひな人形」を飾るといっても、寄贈するに側も、寄贈を受ける側にも、手間と負担が必要です。勝浦市にしろ鴻巣市にしろ、「人形寄贈者が参加協賛金として五〇〇〇円負担のうえ、送料は自己負担で自己搬入。ガラスケース・藤娘等の人形は不可。お役目を終えた人形は主催者側で供養する」と定められ、今やこれが標準的な条件となっているようです。

芥川龍之介の短編小説『雛』

芥川龍之介に大正十二年（一九二三）二月に書かれた『雛』という短編小説があります。

明治維新で零落した商人の家で、生活のため、最後に残された豪華なひな人形を、横浜のアメリカ人に売ることになったときの家族の葛藤をえがいたものです。主人公の少女のためにそれを悲しむ父と母、そんな役にたたないものなどあっても無駄だとせせら笑う開化人間気取りの兄。少女はあきらめがついているが、売る前にもう一度だけ飾って見たいと思う。だが手付金をもらっている以上、人手に渡っても同然と許さぬ父。しかし、明日人形が運び去られるという夜更け、雛人形を飾ってひとりで眺めていた老いた父の姿に、少女は胸をうたれます。

古典から題材を得ることの多い芥川にしては、市井の庶民の心をえがいた作品はめずらしいかもしれません。芥川は、この短編『雛』の最後を、以下のような「あとがき」風の言葉でむすんでいます。

『雛』の話を書きかけたのは何年か前のことである。それを今書き上げたのは滝田氏の勧めによるのみではない。同時にまた四、五日前、横浜の或英吉利（イギリス）人の客間に、古雛の首を玩具にしている紅毛の童女に遭ったからである。今はこの話に出てくる雛も、鉛の兵隊やゴム人形と一つ玩具箱に投げ込まれながら、同じ憂きめを見ているかもしれない。」

芥川龍之介が本当に悲しかったのは、ひな人形がゴム人形や鉛の兵隊とゴジャ混ぜにされ、軽んじられてしまうことにあったのではないでしょうか。人にたいする敬意は当然として、物にたいする敬意もまた大切なことに違いありません。

志木市立郷土資料館では、三月二十五日まで「特別展ひな祭り―ひな人形が大集合2007」を開催しています。

五六〇点をこすひな人形の中に、明治時代の前期の内裏びな、および袴びなも展示されています。

桃

モモ【桃】は、バラ目、サクラ科、サクラ属、（学名は*Prunus persica*）の落葉小高木。春がくると、五弁または多重弁、多くの雄しべをもつ花を咲かせるが、夏には、水分を多くもつ球形の甘い果実を実らせる。

花が4月上旬頃に咲くので、「桃の花」は春の季語として使われる。淡い紅色のが多いが、白色から濃紅色まで様々な色のものがある。花柄は短く、枝に直接着生しているように見える。観賞用の花桃には源平桃・枝垂れ桃などがある。葉は花よりやや遅れて茂るが、ハート型で互生し、縁は粗い鋸歯状。

7～8月に果実が実るので、「桃の実」は秋の季語。赤みがかった白色の薄い皮に包まれ、果肉は水分を多く含んで柔らかいので、手間の掛かる作物である。また、収穫後すぐ軟らかくなるため、賞味期間は短い。

原産地は中国の黄河上流地帯とされ、一世紀頃にペルシャを経由して欧州に伝わった。英名ピーチ（*Peach*）は『ペルシア』が語源で、ラテン語の*persicum malum*（ペルシアの林檎）から来ている。種小名*persica*（ペルシアの）も同じ理由による。

日本では弥生時代、あるいはそれ以前に伝わった。平安～鎌倉時代には水菓子と呼ばれ珍重されていたが、当時の品種はそれほど甘くなく、主に薬用・観賞用として用いられていたとする説もある。明治時代には、甘味の強い水蜜桃系（品種名：上海水蜜桃など）が輸入され、食用として広まった。

なお、『もも』の語源には諸説あり、「真実」より転じたとする説、実の色から「燃実」より転じたとする説、多くの実をつけることから「百」とする説などがある。

桃には邪気を祓う力があると考えられ、「古事記」では、伊弉諾尊が桃を投げつけることによって鬼女、黄泉醜女を退散させた。伊弉諾尊はその功を称え、桃に大神実命の名を与えたという。また桃太郎は桃から生まれた男児が長じて鬼を退治するという民話であるが、三月三日の桃の節句は、桃の加護によって女児の健やかな成長を祈る行事となっていまに伝えられている。

講演会●「柊塚古墳の調査と朝霞の埴輪」平成19年4月8日（日）●「家形埴輪と古墳時代の豪族居館」平成19年4月15日（日）●「埴輪の家が示す古墳時代人の生と死」平成19年4月22日（日）

体験講座も開催されるので、ぜひお問合せを。

朝霞市博物館：TEL048－469－2285

朝霞市博物館 **埴輪の世界**

地域情報

理化学研究所一般公開！

4/21（土）
9:30～16:30

講演内容

講演1 11:00～12:00
現代の錬金術で元素創成の旅へ！
仁科加速器研究センター　櫻井RI物理研究室
主任研究員　**櫻井博儀**

講演2 14:00～15:00
躁うつ病の謎に迫る
脳科学総合研究センター　老化・精神疾患研究グループ
グループディレクター　**加藤忠史**

楽しいイベント

- ●コンピュータで見る「物」の内部立体構造
- ●蛍光灯の光から虹色を取り出そう！ ペーパークラフト工作
- ●芸術と脳「つなげてつなげてつなげてニューロン」
- ●サイエンス・カフェ～研究者と語り合おう～

など

※公開内容は変更になる場合がございます。ご了承ください。

「志木第九の会」

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪ 次回定期演奏会の曲目決まる♪♪

第13回定期演奏会の曲目は、ドヴォルザーク作曲「スターバト・マーテル」（悲しみの聖母）に決まり、合唱団の練習がスタートした。。指揮は三澤洋史、開催は明年秋の予定。

曲目の紹介：この曲は、交響曲第9番「新世界より」で著名なドヴォルザークの代表的な声楽曲で、そのテーマは、処刑された十字架上のイエス・キリストを仰ぎ佇む聖母マリアの、悲しく痛ましい心を祈りの言葉とともに歌った名曲。彼が音楽家としてようやく認められたころ、突然長女を、そして長男と次女を続いて失うという大きな不幸に見舞われ、失意と悲しみの中で作曲したといわれている。

結成されて十五年、『志木第九の会』は、合唱指揮の第一人者である三澤洋史音楽監督の音楽つくりに感銘しつつ、その成果を市民に力強く公開してきた。楽しい練習を見学して、新しい仲間となる方々を募っている。

感銘を与えた演奏会のステージ

入場する合唱団

満員の盛況と大きな拍手で沸いた会場

初心者を歓迎、第九の会では、発声や歌詞の発音などを懇切丁寧に指導されている。

問合せ先：志木第九の会事務局、岡嶋方☎：048（473）6368

練習日は原則第2・3・4土曜日18:30～21:30

練習場所：志木いろは遊学館

会費：3000円／月、入会金はありません。

写真展の会場でアルバムの贈呈

新座写真クラブ交流会では、今年開かれた第十回「わがまち新座」写真展のアルバムを市に寄贈した。中央図書館で市民の閲覧に供されてすでに十年、このアルバムは、新座の景観の移り変わりを後世に遺す貴重な記録となっている。

「わが町新座」写真展のアルバムを贈呈

特定非営利活動法人 NPO「市民フォーラム」

この法人は地域住民と行政に対して取材活動を行い、報道によって市民の公共参加を推進し、地域内のメディア事業を行って、市民のコミュニケーションを向上させることを目的としています。

地域情報紙「市民プレス」はNPO市民フォーラムが編集・発行し、無料で配付します。

＊＊＊

◇ 読者の「オピニオン（意見／考え）」を募集します。

TEL 090（3048）5502
編集部　原宛にどうぞ

NPO市民フォーラムが編集する

近日発売 第6号 CREATIVE BOOK「首都圏人」

暮らしを楽しむ知的なヒントを与える「首都圏人」は季刊で発行しています。

一般書店・楽天ブックスで発売中

暮らしのヒント、武蔵野台地の地誌
日本の花、江戸・東京の祭り
ヒトの英知は何処からきた？
空撮を見開きのカラーで
激しく変貌する都市の景観

各号の特集
第1号 先端のサイエンス・テクノロジー
第2号 東京駅の開業と辰野金吾
第3号 知の頂点を目指す東京大学
第4号 江戸城の築城から皇居へ
第5号 大名庭園

季刊 B5版 100ページ（カラー50ページ）定価630円（税込価格）

発行：（株）ヒューマン・クリエイティブ
〒113-0033　文京区本郷5-9-5　TEL(03)3813-7937
FAX (048)476-9111　http://shutoken.camelianet.com/
発売：ブッキング
〒101-0062　千代田区神田駿河台2-8 TEL(03)3233-5336（代表）

第1号 [ISBN4-8354-7204-7]
第2号 [ISBN4-8354-7205-5]
第3号 [ISBN4-8354-7213-6]
第4号 [ISBN4-8354-7214-4]
第5号 [ISBN4-8354-7217-9]